



BV¹

The background of the page is a dark grey grid of repeating oval shapes. In the bottom right corner, there is a white line graph with two lines, one solid and one dashed, showing an upward trend. Below the graph, the letters 'BV' are written in a large, bold, white sans-serif font, with a small '1' as a superscript to the right.

取扱説明書

目次

はじめに	01
警告	02
BV1に関して	03
BV1解剖図	04
膨張式プロテクション	06
アクセルシステム	10
レスキューパラシュートの組込	12
グライダーの接続	17
装着/調節	18
装備	22
使用法・保守	25
素材	28
仕様	29
オゾン品質保証	30

はじめに

オゾンを選んでいただきありがとうございます。

フリーフライト愛好家、競技者ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最新のデザインと入手可能な最高技術から生み出される素材を使用して最高品質のパラグライダー用装備を創り出すことです。我々の開発チームは南フランスにベースを置いています。近くにはグールドン、モナコ、ブレンヌ峠などのフライトエリアがあり年間300日以上もフライトを可能にしてくれています。これはオゾンのグライダー開発にとって貴重な資産ともいえるものです。装備品の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全てのグライダー製品を自社工場生産するようにしています。製造過程において全てのオゾン製品は多くの厳しい品質検査を受けています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっていることを保証できるのです。

オゾン、F*レースあるいはオゾン製品に関してのさらなる情報をお望みの場合は、オゾンのホームページ(www.flyozone.com)をチェックしていただくか、ファルホークインターナショナル(有)、最寄りのディーラー、スクールあるいはここオゾン本社の我々にご連絡ください。

このハーネスを初めて使用する前に、この取扱い説明書を良く読み内容を理解することは必須です。

安全なフライトを！
チームオゾン



警告

- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性の内在するものです。オゾン製品でフライトするには内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品の所有者であるあなたは、これを使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 常にこのスポーツの進化に遅れないよう上級コースに参加するなどして日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないグライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を受けた範囲を超えての使用は保険(賠償責任、生命など)の対象外になる危険性があります。保険会社に確認することはパイロットであるあなた自身の責任です。
- あなたの装備を徹底して日々およびプレフライト点検を実施してください。不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、ブーツを装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったグライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。また全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- 環境に配慮し、エリアを大事にしてください。
- グライダーならびに関連装備品を廃棄する際には、環境に配慮した方法で行ってください。一般の家庭ごみと同じ方法で廃棄しないでください。



BV1に関して

BV1はビバークフライト冒険用に特別にデザインされた軽量ポッドハーネスですが日常フライトにも適しています。高度に進化した工作技術と最新の素材によって可能になった、快適さ、収納スペース、重量の信じられないほどのバランスが特徴です。ニチノールロードは人間工学に基づいたバックサポートを支援し、アルゴリズムで計算されたダイニーマ糸による耐荷重シームパターンによりパイロットの重量を支えます。実績のある軽量生地が内外面と収納区画全てに使用されています。

オゾンチームパイロットでビバークフライトの記録保持者であるアントワヌ・ジラールは、このハーネスの企画と設計に深く関わり、開発中に厳しい条件下でテストしました。耐久性が重要な関心事で、BV1は遠大なビバークフライトで必要となるものを何も欠いていない強力で信頼性の高いツールです。優れた背中と腰のサポート、そして摩耗領域を賢く補強されているBV1は、頑丈であると同時に快適です。飛行中は、アクリティブな大気の中で安定していて安心感があり、上級機を操縦するために調整されたハンドリングと精度が備わっています。

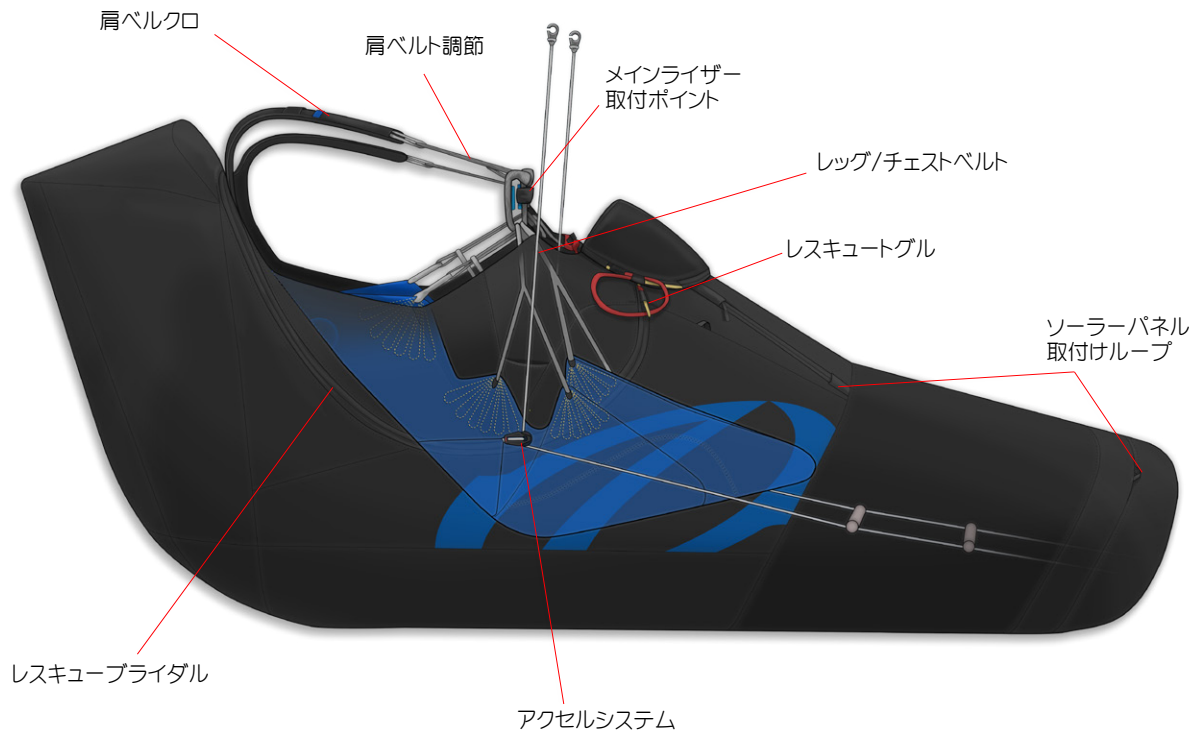
BV1は、シート下コンパートメント、収納およびドリンクシステム用の2つのジッパー付きリアポケット、大きなサイドポケット（カメラと延長ポールに十分な大きさ）、ポッド上部ポケット、レスキューコンテナ下部ポケットを備えています。十分な収納力と頑丈なデザインにより、BV1は、激しいビバークフライト遠征や、より軽量で豊富な収納力を求めるパイロットの日常の飛行に等しく適しています。

高度な3Dモデリングにより、BV1は、大量のビバークフライト用機材を搭載している場合でも空力効率を維持し、最も必要なときに冒険飛行中のグライダーの総合的性能を維持します。

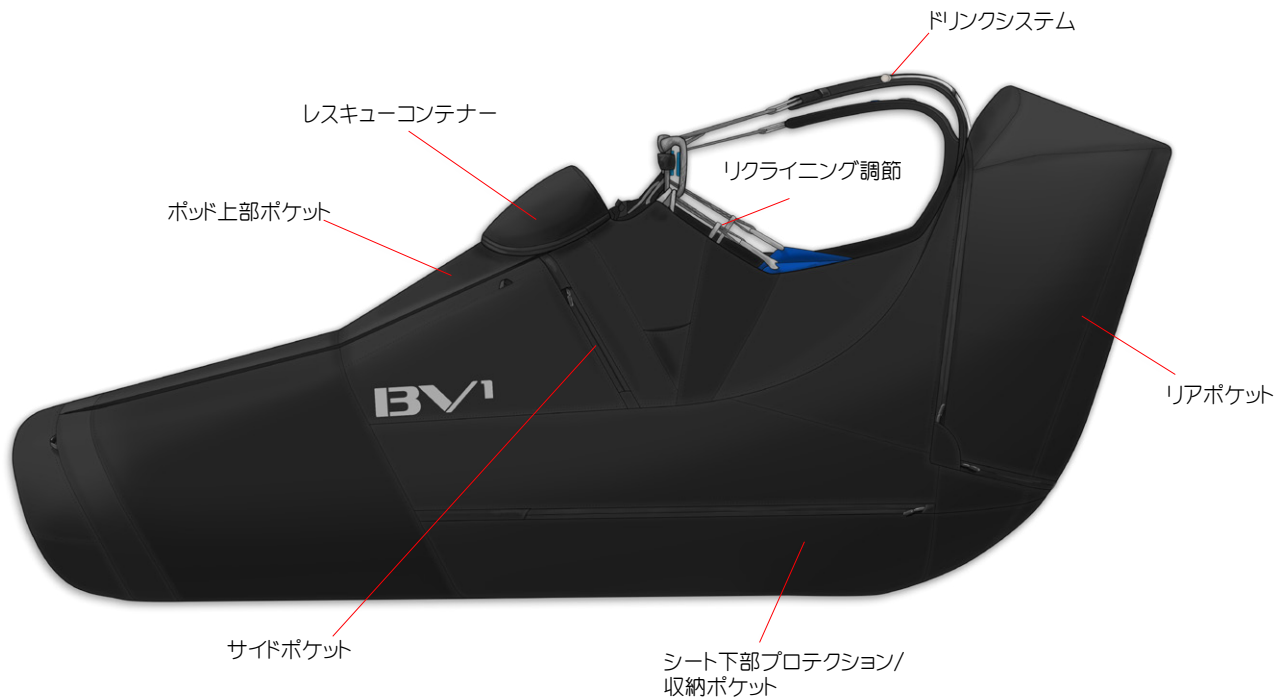
簡単に膨らませることのできるバックプロテクターは、高い圧縮性を備えながら、認証衝撃試験(27G)で優れた結果を示した広い保護領域を提供します。BV1は、収納時のパッキング容量が非常に小さくなっています。



BV1解剖図



BV1解剖図



膨張式プロテクション

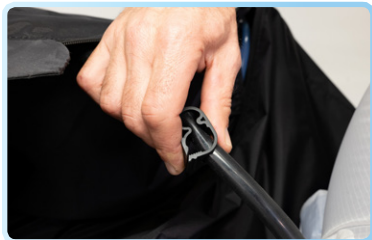


シート下部プロテクションの脱着

BV1は、EN/LTF/CE認定された膨張式シート下部プロテクターを備えています。巧みに設計されており、軽量で体積が少ないにもかかわらず、優れた衝撃吸収特性を提供します。プロテクションは配送時に装着されていますが、使用前に膨らませる必要があります。取り外したり交換したりする必要がある場合は、以下の指示に従ってください。



プロテクションはシートの下にあるポケットにあります。ハーネスからプロテクションを外すには、まずメインのリアポケットにあるインフレーションパイプからストッパーを外す必要があります。ストッパーのロックを解除し、パイプからスライドさせて外します。



シートの下にあるポケットを開き、プロテクションを収縮させて、リアコンパートメントの穴からパイプを送りながらプロテクションを取り外します。



シート下部プロテクションを膨らませる

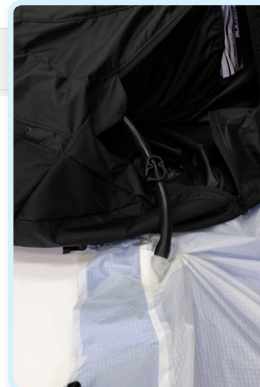


付属の特製袋の中に閉じ込められた空気を使用して、プロテクションを手動で膨らませます。

プロテクションを膨らませるには、リアポケットを開いて、膨張パイプにアクセスします。



ストッパーが開いた位置にあることを確認し、膨張パイプを特製袋の掃き出し口に取り付けます。



特製袋の頂点を手でしっかりと丸め込みながら内部の空気を閉じ込めつつ、圧搾して空気をプロテクションに移します。この作業はプロテクションが完全に膨らむまで繰り返す必要があるかもしれません。



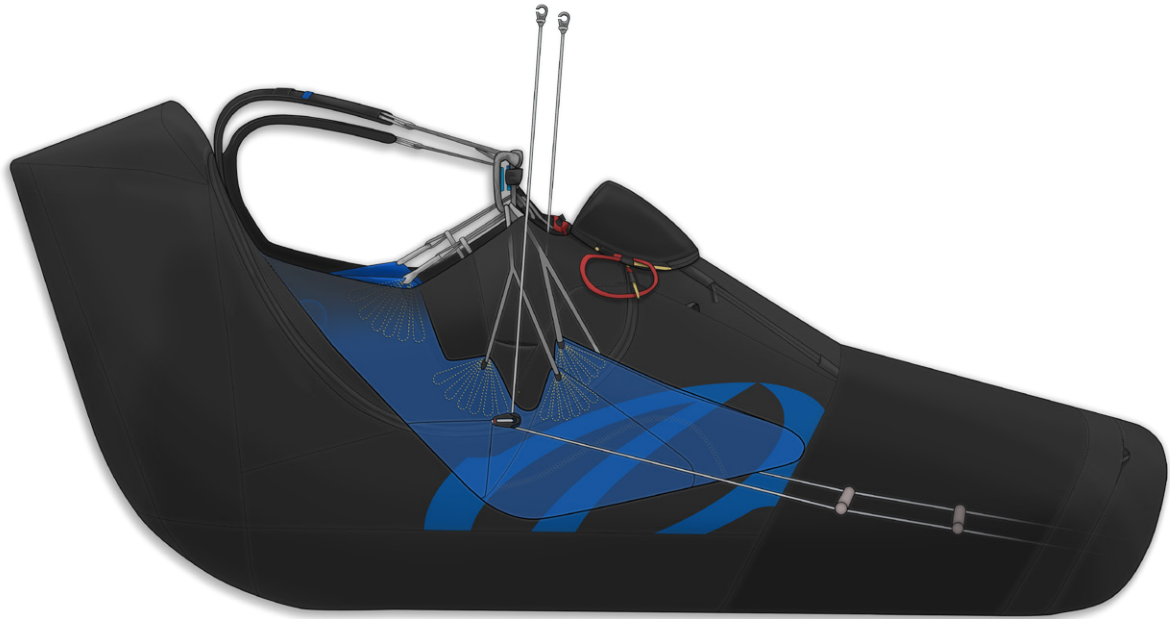
プロテクションが完全に一特製袋を使用して追加で空気をたやすく送り込めないほど膨張したら膨張パイプストッパーを閉じ、特製袋を取り外します。

プロテクションが挿入されているシート下部ポケットがジッパーですっかり完全に閉じられてスライダーが赤い保護スリーブ内に収まっていることを確認してください。これは、ハーネスの安全性と衝撃吸収の重要な部分です。そうしないと、保護の効果が低下します。

重要: 膨張パイプストッパーとシート下部ジッパーが正しく閉じていることを確認します。そうしないと、プロテクションが正しく機能しなくなります。



アクセルシステム



アクセルシステム

統合された軽量アクセルロープが標準で装備されています。アクセルシステムは、工場出荷時点で既に組み込まれていますが、交換する必要が起きた場合は以下のステップに従ってください。

いずれかのラインの自由端を、ハーネスのサイドパネルにある小さな補強されたスリットに通します。



ラインをロンスタンプーリーに通してから、プーリーがねじれていないことを確認しながらリングに通します。ラインがプーリーをきれいに通り、構造部品となっている全てのテープの内側を通るようにします。アクセルバーにラインを取り付ける前に、ラインが構造部品となっているテープのいずれにも誤って巻き付いていないことを再確認してください。次に、アクセルバーをフットプレートに取り付けられたバンジーに結合します。

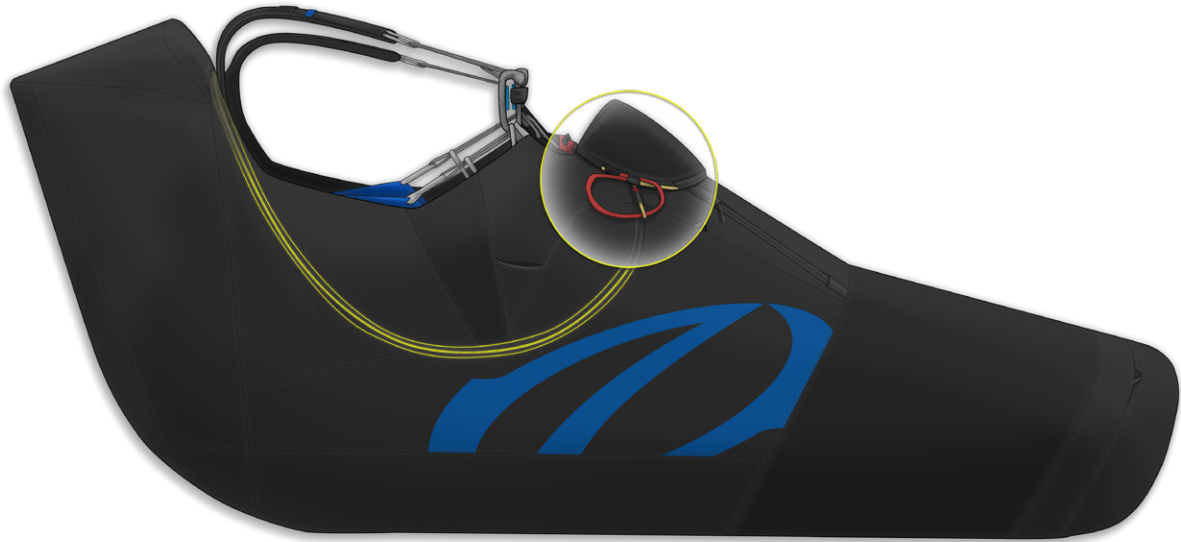


飛行中、安全にそうすることができるなら、足をバーに簡単に置くことができ、システムがフルスピードまでスムーズに動作することを確認します。

重要: アクセルロープの長さは左右同じ長さでなければなりません。空中でテンションがかかった場合に予期せずアクセルが作動してしまうのでアクセルロープの長さが短か過ぎではないことを確認してください。飛び前に地上で長さ左右の対称性を再度確認してください。



レスキューパラシュートの組込



BV1には、前面に取り付けられたレスキューパラシュートコンテナが組み込まれています。このコンテナは、容量が3~5リットルのパラシュート用に認定されており、エンジェルSQプロおよび最新の軽量レスキューパラシュートを組込むことができます。エンジェルSQ120は問題なく組み込むことができます。エンジェルSQ140では何とか組み込むことが出来ますがかなりタイトです。パッキングサイズの小さいより小さい軽量レスキューパラシュートを推奨します。

警告:オゾンにはレスキューパラシュートの組込みは資格のある専門家によってなされるよう強く推奨します。疑問があるならば常に専門家のアドバイスを受けてください。

レスキューの組み込みが終了したらシミュレーターにぶら下がってレスキューの引き出しチェックを確実に実施してください。レスキューシステム全体が正しく機能するかの確認ができるだけでなく、組み込み過程をより理解する手助けとなります。

レスキュートグルはコンテナの右側にあり、右手で投げる必要があることに注意してください。

BV1には専用のレスキューパラシュートインナーコンテナはありません。パラシュートに付属しているものを使用してください。パラシュートは、フロントコンテナの形状と寸法に合致するようにパッキングする必要があります。レスキュートグルはインナーコンテナの外側のループにヒバリ結びで接続します。センターのループには接続しないように注意してください。





写真のように、ハーネス側のブライダルがレスキューコンテナまで正しく導かれていることを確認します。



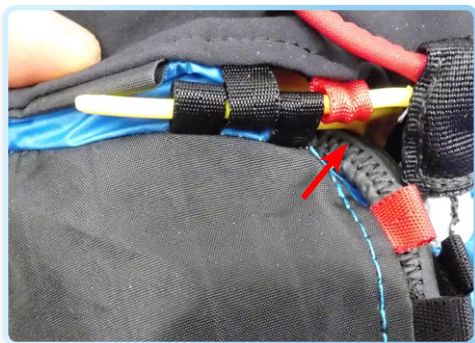
BV1にはショートブライダルのレスキューパラシュートのみが適合します。

適切なコネクタ(付属していません)を使用してハーネスブライダルをパラシュートのブライダルに接続し、両端をOリング(付属していません)を使用して固定します。あるいは、重量を減らすためにパラシュートのブライダルをヒバリ結びでハーネスのブライダルに直接取り付けることも可能です。

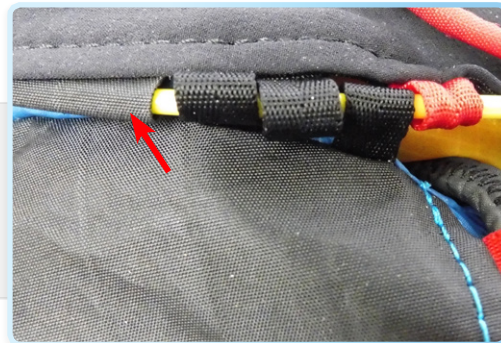


パラシュートコンテナのファスナーが完全に右側(ブライダルがコンテナに入り込む位置)に配置されていることを確認します。隙間からトグルを取り出し、レスキューパラシュートをコンテナ内にきれいに配置します。パラシュートのラインはパラシュートの下側に来るように注意してください。





次に、3つの黄色のケーブルをそれぞれのループに通します。まず初めにハーネスの後ろに向かって刺し通すケーブルからスタートします。それぞれのケーブルは正しい順序(最初に赤色のループ)でループに通さなければなりません。赤いループと3つの黒いループを刺し通したらケーブルを最後の保護ループに刺し込みます。



同じ様にハーネスの前側に向かって通すケーブルを刺し込みます。最初の2つのループを通したら、ファスナーを少し閉じて、残りのループを簡単に通るようにします。





3番目のケーブルはハーネスのブライダル方向に刺し込みます。最初の2つのループを通したら、ファスナーを少し閉じて、残りのループに刺し通します。



ケーブルを最後の保護ループに刺し込む前に、トグルをきちんと固定するためにトグルをケーブルの下側に来るように配置します。その後ケーブルを保護ループに刺し込みます。



レスキューコンテナとブライダル収納スリーブのファスナーを完全に閉じることができるようになりました。ファスナーが完全に閉じられており、スライダーがそれぞれの端末コンパートメントに収納されていることを確認してください。そうでないと意図せずにファスナーが開放してしまう危険性があります。



グライダーの接続

以下に示すように統合されたリンクライトコネクターを使用してメインハングポイントにライザーを接続する:



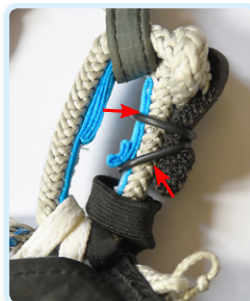
ライザーにリンクライトを差し込む



AループをBループに差し込む



BタブをBループに差し込む



Bタブを2個のOリングで固定する



さらにBタブを伸縮テープで固定する

重要:メインハングポイント以外に適切にハーネスにライザーを取り付けるは場所はありません。

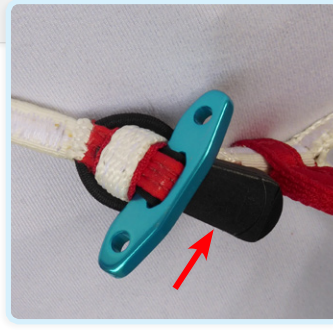
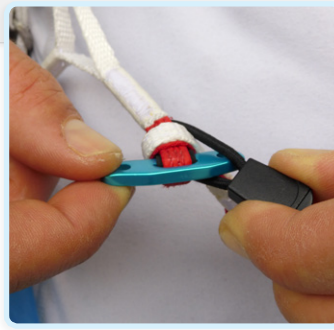
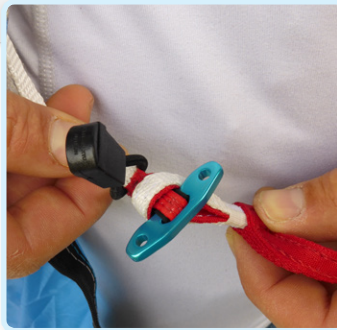


装着/調節

初めてフライトする前に、シミュレーターにぶら下がり、フィット感を確認しハーネスの特徴や調整に慣れるように推奨します。最もしっくりくるように肩ベルトを調整し、快適なリクライニング姿勢が取れるようにリクライニング角度を調整してください。



ハーネスを装着するには、まず肩ベルトを肩にかけます。レッグベルトは左右色分けされたTロックバックルで固定されます。Tロックバックルをループにすっきり遠し、ゴムバンドでしっかりと固定します。



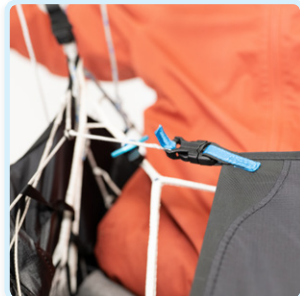
重要: ゴムバンドが正しく設置されていることを確認します。そうしないと、レッグベルトが外れる可能性があります。



赤いボールをループに通すことで、肩ベルト保持ストラップを締結することができます。



次にポッドを閉めるシステムを接続します。まず右側にあるメスバックルをポッドの左側にあるオスバックル(青色)に差し込みます。レスキューコンテナーのサイドにある赤色のループを左側にあるメタルリングに通し、アンチフォゲットロックバックル(赤色)を差し込んで固定します。アンチフォゲットラインは図のようにポッドの上側を通っていなければなりません。



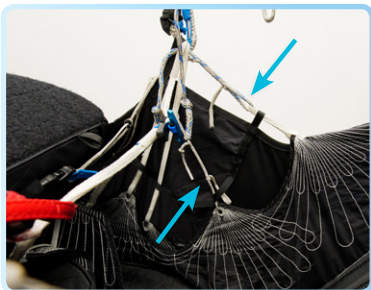
肩ベルト



肩ベルトの長さは、スプライス調節を使用して変更できます。ハーネスを装着して立った姿勢で、快適にしっかりとるよう調節します。シミュレーターにぶら下がって着座姿勢で肩ベルトが快適で体をしっかりとホールドしているかを確認してください。肩ベルトを締めるにはグレーのロープを結び目を掴んで前方に引きます。緩めるにはループを同じ方向に引きます。



リクライニング角度



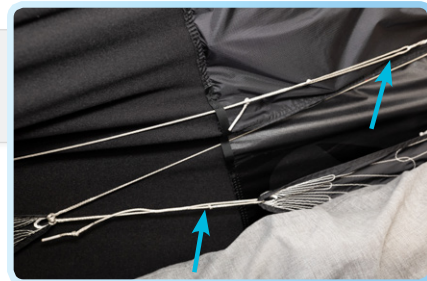
最適なフライングポジションを見つけることができるように、2つのランバーサポートがあります。背中全体が完全にサポートされ腹筋を使わなくても快適な姿勢が取れるように正確に調整します。この調節は肩ベルト同様スプライス調節を使用します。この調整はフライトでの快適性に大きく影響するので慎重な調整が必要です。過度に緩くすると、フライト中寝そべりすぎた姿勢になります。



レッグサポート角度/ポッドの微調整



ポッドの角度と全長に対するわずかな調整は、スプライス調節を使用して行うことができます。フットプレートの角度もスプライスの相対位置を移動することにより、変更できます。



装備

大容量の収納スペース

BV1は、シート下コンパートメント、収納およびドリンクシステム用の2つのジッパー付きリアポケット、大きなサイドポケット（カメラと延長ポールに十分な大きさ）、ポッド上部ポケット、レスキューコンテナ下部ポケットを備えています。



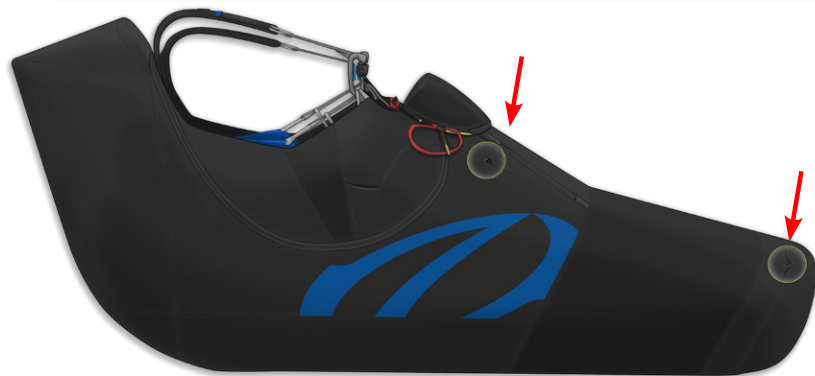
ドリンクシステム

BV1には、メインの背部ポケットに統合されたドリンクバッグ用ポケット、左側に設けられた開口部およびドリンクチューブ用アンカーポイントからなるドリンクシステムが装備されています。



ソーラーパネル取付用ループ

BV1にはソーラーパネル(付属していません)を取り付けるためのループが装備されています。



肩ベルクロマウント

右肩ベルトには小型バリコ、無線機あるいはGPSトラック計器を取り付けるための軽量ベルクロマウントが装備されています。



使用法・保守

プレフライトチェック

テイクオフ前に徹底的なプレフライトチェックを行うことが重要です。

- レスキューのクローズピンが正しく組込まれていて、レスキューコンテナ周囲のファスナーが閉められているか確認
- 構造部材のテープが破損していないか確認
- リンクライトコネクタがOリングと伸縮テープで正しく取り付けられ、疲労や損傷の兆候がないことを確認
- ライザーがねじれておらず正しくリンクライトコネクタに取り付けられているか確認
- アクセルシステムがベルトなどに絡んだりしておらず正しく締結されているか確認
- 全ての収納ポケットのファスナーが閉じられていることを確認
- レッグ/チェストベルトのTロックバックルが正しく締結されゴムバンドでしっかりと固定されているか確認
- 肩ベルト保持ストラップが正しく締結されているか確認
- レッグベルトの再確認

着水

着水した後はレスキュー、シート下部プロテクション、フットプレートを取り外し乾燥させます。もし海水に着水した場合は、塩の痕跡が完全に除去されるまでハーネスおよびすべての部品を清水を使用してしっかりと清掃する必要があります。再組立てする前に、ハーネスおよびすべての部品が完全に乾いていることを確認してください。

重要:着水した場合、バックプロテクションおよび背部部分の浮力によってパイロットの顔面を水中に抑え込む危険性があります。着水したらずぐさま全てのベルトを開放し、ラインに絡まらないようにハーネスから離れてください。

トーイング

BV1はトーイングには適していません。

外部レスキューコンテナ

BV1には追加のレスキューコンテナは取り付けられません。



レスキューの開傘

もしレスキューを投げると言う不運な状況に陥ったら、確信を持って投げてください:

見て;掴んで;引き出して;投げる。

- トグルを見て、掴んで、クローズケーブルが開放されるまで引く。レスキューは右腕でのみ投げることが可能です。
- インナーコンテナを引き出す。レスキューがコンテナからハーネスの側方へ引き出されるように外方向へ引き出すのがベストです。トグルを上方向に引っ張り上げてもレスキューが引き出されない可能性があります。装備を理解し、それに合わせたテクニックを用いてください。
- レスキューをグライダー方向ではなく、思いっきり障害物のない外側のスペースに放り投げる。この際トグルも一緒に投げることを忘れないようにすることが重要です。開傘を速くするために空気の流れの方向そして回転方向と反対方向へ投げるようにしてください。
- もしレスキューを投げてでも開傘しない場合(エネルギーの低い緊急事態、例えばディープストールなど)はレスキュープライダルを掴んで力強く引いてください。このようにすると開傘を速める効果が期待できます。
- レスキューが開傘したら次はパラグライダーを無効にすることです。その方法としてはいくつかあります—Bラインストール、リアライザーストール、Aラインを手繰り寄せてキャンピーを抱きかかえる、ブレークを使用してストールさせる。最良のテクニックは状況によって変わります。最も重要なことは、グライダーがレスキューの動きに逆らってダウンブレン状態にならないように完全にグライダーを無効にすることです。どの方法を選択するにしてもグライダーが回転しないように左右対称にしてください。そうしないとグライダーがレスキューに突っ込んでレスキューが正常に機能しなくなります。
- ほとんどのハーネスのレスキュープライダル取り付け位置により、レスキューを開傘すると自動的にパイロットの姿勢はPLF態勢(脚が下に向く)になります。もしそうならない場合は、着陸時の衝撃を脚で吸収できるように、どんなことをしてでもこの姿勢になるようにしてください。
- 緊急事態やレスキューを開傘した状況で着陸する際は常にPLF態勢を取ってください。



保守

ハーネスは、正しくお手入れすれば、何フライトも何年も長持ちします。ハーネスをグリーンで耐空性を維持できるようにするには、以下のことに注意してください：

- 紫外線、熱、湿気に過度にさらさない。
- ハーネスを乾燥させてたたみ、涼しくて乾燥した場所に保管する。
- 決してハーネスを引きずらない。特にランディング時。
- 埃や油、その他の腐食性物質から遠ざける。
- 清掃には水と布を使用する。

点検

安全のためにすべての装備を定期的に変換することが極めて重要です。オゾンとしては通常のプレフライトチェックの他に12か月ごとの検査を推奨します。検査には縫製部、テープおよび構造的に重要なすべての部分を目視でチェックします。摩耗が最も起こりやすいリンクライトコネクター周りのテープには特に注意が必要です。もし何らかの損傷を発見するか疑問がある場合はハーネスを専門家に検査してもらってください。

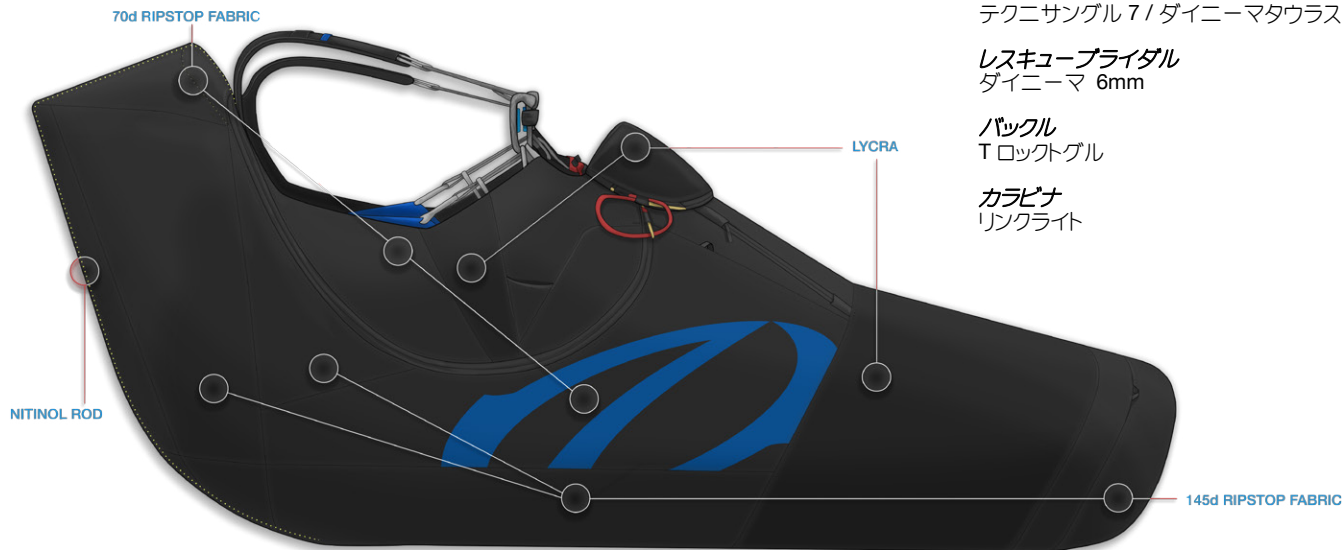
もしレスキューパラシュートを使用しているなら、システム全体を6か月ごとに点検し、パラシュート製造者の推奨に従ってパラシュートをリパックしてください。

廃棄

ハーネスの寿命が来たならば、すべての金属パーツを取り外してから環境に優しい方法で廃棄してください。



素材



素材

ハーネス外装生地

ドミニコ 145D, 70D, ライクラ

メインテープ

テクニシングル 7 / ダイニーマタウラスライン

レスキュープライダル

ダイニーマ 6mm

バックル

T ロックトル

カラピナ

リンクライト



仕様

	S	MS	ML	L
重量 (kg)	1.8	1.9	2.0	2.1
推奨されるパイロット身長 (cm)	155 - 170	170 - 180	175 - 185	185 - 195

重量には次のパーツを含みます:バックプロテクション、リンクライトコネクター、レスキューブライダル。

認証

BV1は、最大荷重120kgでEN1651:2017およびLTF認証を取得しています。また膨張式シート下部プロテクションはCRITT (フランス) によりCE認証を取得しています。



オゾン品質保証

オゾンでは我々の製品の品質に大変こだわっています。全てのオゾンハーネスは自社工場で最高のスタンダードに沿って作られています。製造されるハーネスの全てが一連の厳しい品質検査を受け、使用される部品は全て追跡調査が出来るようになっていました。我々はユーザーからのフィードバックを大いに歓迎しますしカスタマーサービスも忘れていません。通常の磨耗や破損あるいは不適切な使用によるもの以外の製造上の欠陥および不具合に対していつでも無料で修理を行います。また、オゾンならびに代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しています。ハーネスに破損、摩耗などの不具合が見つかった場合には適切な価格で修理をいたします。

ディーラー、代理店に連絡が取れない場合には、オゾンに直接コンタクト (info@ozone.com) してください。

最後に

安全に飛ぶことがこのスポーツで最も重要なことです。安全であるためには定期的に練習をし、周りに存在する危険を理解しなければなりません。このためには、出来るだけ定期的にフライトし、可能な限り操縦技術およびグランドハンドリングを向上させ、気象に関して常に興味を持たなければなりません。これらのどれ一つでも欠けていれば、不必要にあなた自身を危険にさらしていることとなります。

環境に配慮し、あなたのフライトエリアを守ってください。

最後に、自然を敬ってください。自然はあなたが想像するより遥かに大きな力を持っています。あなたの技術レベルに照らし合せて適切なコンディションがどの程度であるかを理解し、その範囲内に常に留まってください。

BV1で楽しいフライトを
オゾンチーム



このハーネスに関するお問い合わせ先:
輸入者:ファルホークインターナショナル有限会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
Tel: 03-5451-5175
Email: info@falhawk.co.jp
URL: <https://www.falhawk.co.jp>



1258 Route de Grasse
Le Bar sur Loup
06620
France

Inspired by Nature, Driven by the Elements
www.flyzone.com